

医学部構内の路上駐車について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2016年5月25日）

近頃、医学部構内は駐輪場の整備が行われ、教務により駐輪に関する注意がメールで行われるなど自転車の駐輪場所に関しては年々厳しく管理されてきているように思われます。

しかし一方で、自動車の駐車に関しては甘く、歩道の並木道の横に大量の車が路駐されているのが現状です。

医学部構内は教員の車だけでなく研究室関連の業者の車など様々な車が入り出すため管理が難しいかと思われませんが、占有する面積、そして何より視界が悪くなることによる危険性の大きさの観点からいうと、むしろ自転車以上に自動車の駐車に関しては厳しく管理していただきたいと考えております。

事実、車が来ているにも関わらず路駐してある車の陰から飛び出す危険な学生の様子をいくらか目撃しております（飛び出しに関してはその学生側の不注意も多大にあると思われませんが）。

また、大型トラックなどが通行する際には、路駐の車によって道が狭くなっているため、通行が困難になります。

自転車と違い自動車の数は溢れるほどではないため、おそらく駐車スペース自体は医学部構内に十分余っていると考えられます。

路駐が多いのは、教員やその他業者の意識の問題ではないでしょうか？

取り締まりを厳しくし、注意を行うなど改善をお願いしたいと思います。

よろしく申し上げます。

【回答】（回答日：2016年7月11日）

（医学研究科事務部経営企画室より）

貴重なご意見ありがとうございます。

ご指摘の路上駐車は、医学部構内に臨時入構する工事・納品業者が、荷卸し等を行うための車両であり、これまでも、正規駐車場への駐車指導、車道端へのパイロン・車止め設置による路上駐車抑制等、対策を行って参りました。

引き続き、上記対応を継続するとともに、事務部及び検収センターより、路上駐車禁止文書を関係業者に配布し、構内交通ルールの更なる周知徹底、及び当該道路への駐車禁止対策（バリカーや駐車禁止掲示の増設等）の強化を行います。

また、構内巡回による指導や、路上駐車車両への警告文書の掲示についても計画しております。

今後も、構内の安全な環境の維持・管理に努めて参りますので、お気づきの点等ございましたら、ご連絡頂けますようお願い致します。